

物流事業



- ▶ 確かな品質でおいしさと笑顔をお届けします
- ▶ 物流を通じて、当たり前前の日常を支えます

事業のめざす姿

魅力ある人と技術でベストパートナーとなり
環境と人にやさしい企業をめざします

2019-2021年度 中期経営計画

テーマ

持続的な成長のため 機能強化と新領域拡大

主な取り組み

共同物流

共同物流は、複数のお客様の商品を共同配送（混載）することで、お客様の販路拡大やコスト改善に大きく貢献しています。倉庫・運送機能の効率化、新領域拡大による収益力の強化を進めていきます。また、中継輸送や、鉄道・船舶を利用したモーダルシフトなど、運び方の工夫を行い、全国物流ネットワークの強化を進めていきます。

専用物流

専用物流は、チェーン向け物流センターの運営など、得意先の物流を包括的に請け負っています。コンビニエンスストアやスーパーマーケット向け専用センターの受託エリア拡大を進めていきます。センターオペレーションの効率化などにより、収益の安定化をめざしていきます。

基盤の強化

新技術の導入、人的資源の再配分による効率化と高品質化を進め、多様な人材が安心して働けるダイバーシティを推進していきます。また、自然冷媒による冷凍設備など、環境に配慮した機器の導入を進めていきます。

2018年度の主な取り組み

環境変化への対応

2018年度の食品物流業界は、全国各地で多発した自然災害により、緊急対応や、代替輸送などの対応に追われました。拠点や車両が被災したことに加え、その後の障害対応など、少なからず業績に影響を受けました。厳しい事業環境のもと、収益力の強化、ネットワーク再編、運送機能の再構築、物流品質向上、人材育成などに取り組みました。

運送機能の再構築

労働環境改善に向け、「結ぶ輸送」とモーダルシフトを推進しました。「結ぶ輸送」とは、中継輸送のことで、日本列島を約300kmずつ結ぶという、社内の造語です。この取り組みにより、長距離輸送の日帰り運行が実現しています。

船舶を利用したモーダルシフトでは、2018年12月より、冷凍トレーラーの無人輸送を苫小牧港（北海道）-常陸那珂港（茨城県）間で開始しました。

Topics

交通安全教室の開催

2018年4月東京・渋谷ハチ公前広場にて交通安全教室を開催しました。運転手の目線からはどこが死角になるのかなど、大型トレーラーの乗車体験を行いました。今後も、地域と協働して、安全・安心な社会づくりに貢献していきます。



Message



株式会社キューソー
流通システム
代表取締役 社長
西尾 秀明

品質を最優先にこだわり、グループ総合力を展開し持続的な成長を追求していきます。オペレーションのシンプル化、拠点への最新技術導入による経営資源の最適化を進めるとともに、様々な立場の従業員が安心して働ける環境の構築に積極的に取り組んでいきます。